

令和4年度長崎県保健医療対策協議会がん対策部会  
胃がん委員会 議事概要

日時：令和4年11月1日（火）18：30～20：00

場所：長崎県庁 3階 311会議室

出席者：上谷委員長

上戸委員、木田委員、水田委員、宮崎委員、山根委員（五十音順）

(1) がん検診に係る各目標指標について

資料1により事務局から説明。

市区町村の実施するがん検診受診率は全国と比較すると高い水準にあるが、職域検診や人間ドックの受診率を含めると全国より低い水準となるため、職域等の受診率が低いと想定される等の課題を共有した。

(2) 事業評価のためのチェックリストについて

資料2により事務局から説明。

未実施となった検診機関別の評価にかかる項目は、今年度より検診機関毎の実施状況を把握できたため、実施に向け前進したとの意見をいただいた。全ての医療機関に対して、聞き取り調査やフィードバックを行うことはマンパワー不足で難しいため、まず実施率の悪い医療機関に対して指導を行い、徐々に実施率の改善に取り組む等、今後の方針を共有した。

(3) 長崎県内の胃がん検診の実績と精度管理について

資料3により事務局から説明。

胃（内視鏡）の要精検率が市町によってばらつきがあり、市町によっては要精検率の許容値11%以下を大きく上回っている。特定の検診機関で要精検率が高くなっていることが推測されるため、そういった医療機関に対して指導を行う必要がある等の意見がだされた。

(4) 精密検査実施機関登録制度 比較調査について

資料4により事務局から説明。

現在の登録要件であれば、内視鏡医の現状を見ても問題ないとの意見をいただいた。比較調査項目について、胃がんに関わらず食道や十二指腸、胃潰瘍等を疑って組織を取る場合もあるので、胃がん検診の件数のみを調査するのであれば、回答しやすいよう注意書き等の工夫が必要との指摘があった。登録制度の導入については、令和6年度を予定している等、今後のスケジュールについて共有した。

(5) 長崎県がん対策推進計画 中間評価について  
資料5により事務局から説明。  
意見等は無かった。